

吾妻地域の安心な出産を後押し！

～1時間以内に周産期医療へ到着できる範囲が拡大～

県立小児医療センターへの時間が短縮

今までの緊急搬送時間を短縮し、周産期医療体制のある県立小児医療センターへ自動車ですぐに到着する範囲が拡大し、周産期医療体制の充実が図られます。



吾妻地域の周産期医療の現状

現在、吾妻地域内には周産期母子医療センター等は立地しておらず、西吾妻福祉病院などの産婦人科・小児科を利用するか、地域外の病院を利用しています。渋川市に群馬県の総合周産期母子医療センターである、『県立小児医療センター』がありますが、地域東部の一部を除いて、自動車ですぐに到着するのが実情です。

周産期医療とは

「周産期」とは、妊娠22週から生後満7日未満までの期間をいい、合併症妊娠や分娩時の新生児仮死など、母体・胎児や新生児の生命に関わる事態が発生する可能性があります。

周産期を含めた前後の期間における医療は、突発的な緊急事態に備えて産科・小児科双方からの一貫した総合的な体制が必要であることから、特に「周産期医療」と表現されています。



【効果】 上信自動車道全線開通による効果

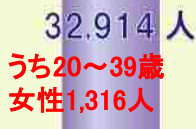
上信自動車道の整備により、県立小児医療センターまでの所要時間が短縮します。県立小児医療センターまで1時間で到着する範囲は、新たに長野原町の中心部などが含まれることになり、60分圏域人口が9,000人増加します。

約9,000人増加（37%増加）

うち20～39歳女性 約360人



整備前



整備後



新たに増える1時間圏域

ストック効果